

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームあらた
作成日 令和6年2月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・職員一人ひとりの価値観は様々であり、介護に対する思いも違うのは当然である。しかし、理念に沿った統一したケアができていないとご利用者も混乱し、安心して共同生活を送ることができない。統一した支援を行うためには、全職員が理念をしっかりと理解し、理念に沿ったケアを常に実践していかなければならない。 “ご利用者のため”と行っている支援が理念と異なっている場面が時折みられる。	一切のケアが理念に沿い、全職員が実践できる。	・まずは管理者が職員一人ひとりの介護に対しての価値観を聞き取り、当施設の理念と違っている部分に関しては改めて全職員が認識できるように内部研修を行う。 ・統一した支援が行われていない場面を見た時は職員同士で随時声をかける。 ・朝礼後の理念の唱和を再開する。	6ヶ月
2	3	以前は地域住民や小学校への「認知症サポーター養成講座」を開催したり、地域住民が気軽に来訪し、相談を受けたりと地域密着型介護施設としての専門性を活かした地域貢献ができていたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により現在は地域への貢献ができていない。	地域密着型介護施設としての専門性を活かし、地域貢献が再開できる。	・認知症サポーター養成講座の講師を積極的に行う。 ・運営推進会議で、地域貢献の方法を検討し、実践する。	1年
3	14	外部研修への参加は徐々に再開しているが、リモートでの研修が主体となっており、同業者との直接の交流が図れていないためネットワーク作りの進展がない。	他施設との交流を再開し、共にサービスの質を向上することができる。	・リモート以外の研修へ参加する。 ・他施設との交流を通して情報交換を行い、自施設のサービスに活かす。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。